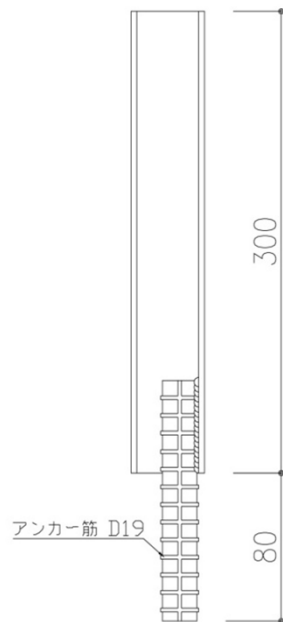
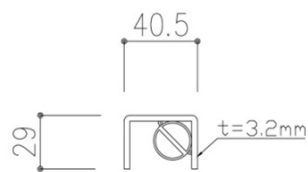
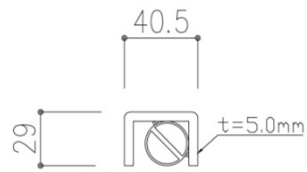


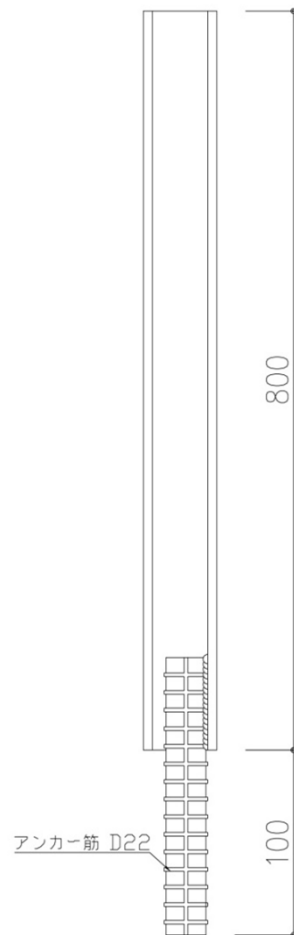
# アルミ手すり後付けアンカー工法 (ICアンカー) 施工手順書

Ver1.2021.08

スチール材 (SS400)  
溶融亜鉛めっき仕上



HBK-30C



HBK-30A (BL認定品)

# アルミ手すり アンカー種別一覧

各現場におけるアルミ手すりの必要な荷重に合わせて、ICアンカーの種類、支柱ピッチを決定します。

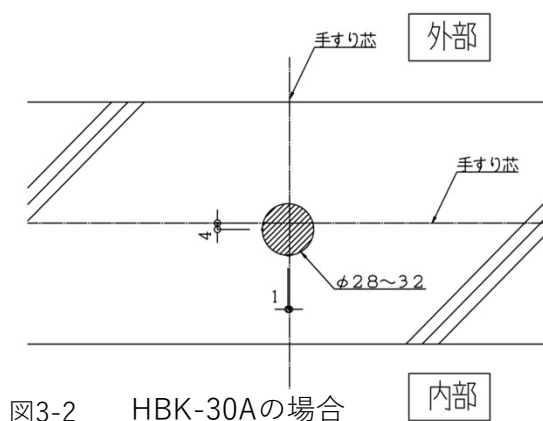
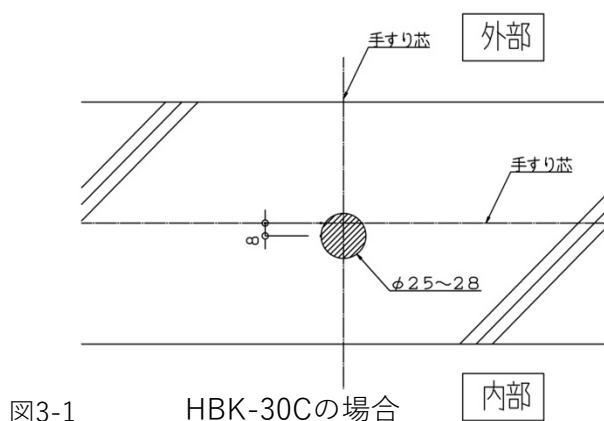
	種別	使用手摺	下穴径/深さ	硬化時間	特に注意する事
①	HBK-30C (ICアンカー)	格子・ガラス・パネル ルーバータイプ	φ25～ 28/90mm	エポキシ樹脂 夏：24時間程度 冬：48時間以上	2液エポキシ材をよく攪拌する エポキシ硬化するまで充分養生する
②	HBK-30A (ICアンカー)	格子・ガラス・パネル ルーバータイプ	φ28～ 32/110mm	エポキシ樹脂 夏：24時間程度 冬：48時間以上	2液エポキシ材をよく攪拌する エポキシ硬化するまで充分養生する

※エポキシ樹脂

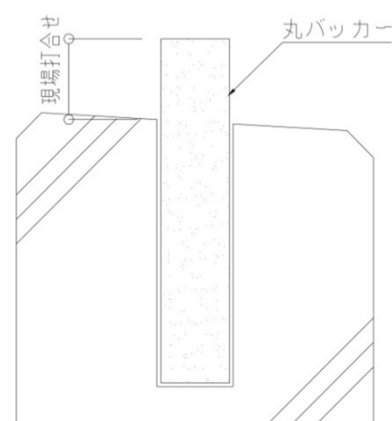
- ・アイカ工業 JB-23/JB-18
- ・旭化成 EX-350

## 施工時の注意点－穴あけ編

- ・各現場におけるアルミ手すりの必要な荷重に合わせて、ICアンカーの種類、支柱ピッチを決定します。
- ・承認図より、アルミ手すりの支柱芯をマーキングしてください。
- ・ICアンカーの芯は手すり芯より偏芯しているので、その位置をマーキングして穴あけします。



- ・孔内の清掃を充分におこなってください。（エアポンプ、掃除機等）
- ・雨水等の侵入がないか注意してください。水が溜まっていると、エポキシの硬化不良の原因となります。
- ・清掃完了後、穴の深さを確認し丸バッカーを入れます。（バッカーの寸法は現場打合せとします。）
- ・鉄筋に当たっている場合は、丸バッカーにマーキングをおこなってください。打合せにより、元請にコア抜きを依頼してください。  
※改修工事等、手すり事業者がコア抜きをする場合は、必ず元請に確認をすること。



- ・手すり搬入、間配り等段取り終了後にバッカーを抜いてください。
- ・仕上げ材（左官、ウレタン防水等）により位置が分からなくなった場合は、承認図の寸法より穴位置を確認してからバッカーを抜いてください。
- ・雨水等が溜まっている場合は除去し、乾かしてから作業してください。
- ・穿孔した孔に、エポキシ樹脂（JB-23 {HBK-084A}）を穴の半分程度までオイラーにて注ぎます。（季節によりエポキシ樹脂は選定されたものを使用してください。）  
（エポキシ樹脂が足りない場合は、手すり本体建込み後、ICアンカーと孔のすき間より継ぎ足してください。）
- ・注入後手すり本体の建込みを行い、手すりの倒れ、通りやレベルを調整し動かないよう足場等に仮固定（養生）を行ってください。（硬化は24時間が目安）  
（レベルを保つためにジャッキやスペーサー等を用いてください。）
- ・足元カバーを設置して完了です。

# ICアンカーについて

## 特に注意すること 8点

1. 孔内の清掃をおこなってください。その際、雨水の侵入がないか注意してください。水が溜まっているとエポキシの硬化不良の原因となります。
2. ICアンカーの切断はおこなわないでください。本来想定されている強度が出ず事故の原因となります。
3. 躯体鉄筋にアンカーが干渉し避けられない場合、元請・設計者に対処方法を確認し、指示に従ってください。
4. 2液性エポキシ樹脂をよく攪拌してください。
5. エポキシ樹脂が孔からこぼれないよう入れる量に注意してください。
6. 建込み（倒れ、通り）及びレベル調整をおこなってください。  
足場等に栈木（木材）等を用いて、しっかりと番線  
で固定し手すりが動かないようにしてください。  
手すり材の養生を忘れずにしてください。  
固定間隔はジョイント部を基準に、3m程度で固定  
してください。樹脂が硬化するまで十分な養生を  
行う。（張り紙等で『硬化養生中』を周知すること。）

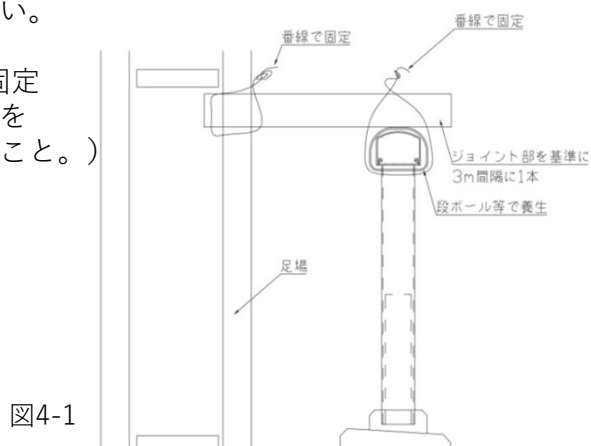


図4-1

7. エポキシ樹脂をコンクリート天端まで注入してください。継ぎ足す場合は 穿孔部のすき間等から注入して下さい。  
注入しにくい場合は、バール等で手すり支柱部を少し持ち上げて注入して下さい。

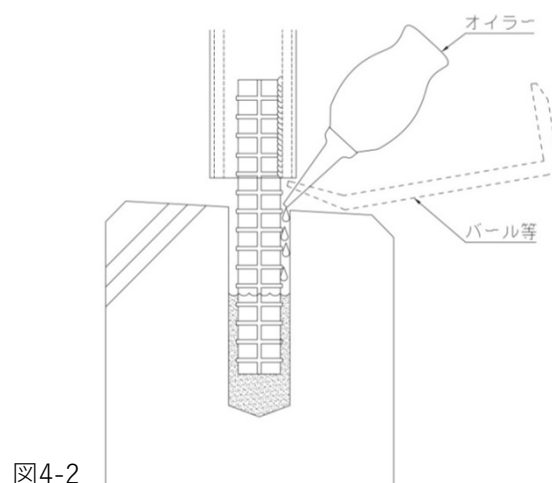


図4-2

8. 重ねて仮置きする場合  
ICアンカーの付いた手すりは、ねじの頭が手すりに当たり傷が付く場合があります。ずらして置くか、ICアンカーのねじ頭にクッション材等で養生する必要があります。